

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-224356(P2008-224356A)

【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2007-61622(P2007-61622)

【国際特許分類】

G 0 1 S 13/88 (2006.01)

G 0 1 S 7/292 (2006.01)

F 4 1 G 7/22 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 13/88 M

G 0 1 S 7/292 A

F 4 1 G 7/22

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月22日(2009.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のパルス繰返し周波数(PRF: Pulse Repetition Frequency)で繰返される複数の送信パルスからなるパルス信号を送信し、前記パルス信号が目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を施すことにより検出した目標に向けて飛しょう体を誘導する飛しょう体誘導装置であって、

各々の前記送信パルスを送信する送信時間内を前後2つの送信時間に分割し、分割した2つの送信時間に連動して、一方の送信時間においては前記パルス信号を目標方向に向けて送信し、他の送信時間においては前記パルス信号をクラッタ方向に向けて送信するアンテナ部と、

前記目標方向に向けて送信した前記パルス信号が前記目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記目標方向の合成帯域処理結果を取得すると共に、前記クラッタ方向に向けて送信した前記パルス信号が前記クラッタで反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記クラッタ方向の合成帯域処理結果を取得する合成帯域処理部と、

前記目標方向の合成帯域処理結果と前記クラッタ方向の合成帯域処理結果との差分をとることで前記目標を検出する目標検出部と、を備えることを特徴とする飛しょう体誘導装置。

【請求項2】

所定のパルス繰返し周波数(PRF: Pulse Repetition Frequency)で繰返される複数の送信パルスからなるパルス信号を送信し、前記パルス信号が目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を施すことにより検出した目標に向けて飛しょう体を誘導する飛しょう体誘導装置であって、

各々の前記送信パルスを送信する送信時間内を前後2つの送信時間に分割し、分割した2つの送信時間に連動して、一方の送信時間においては前記パルス信号を目標方向に向けて送信し、他の送信時間においては前記パルス信号をクラッタ方向に向けて送信するアン

テナ部と、

前記目標方向に向けて送信した前記パルス信号が前記目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記目標方向の合成帯域処理結果を取得すると共に、前記クラッタ方向に向けて送信した前記パルス信号が前記クラッタで反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記クラッタ方向の合成帯域処理結果を取得する合成帯域処理部と、

前記クラッタ方向の合成帯域処理結果に基づき前記クラッタが存在する距離を算出し、算出した前記距離周辺を除いた範囲を目標検出範囲と設定して、前記目標方向の合成帯域処理結果から目標を検出する目標検出部と、を備えることを特徴とする飛しょう体誘導装置。

【請求項3】

所定のパルス繰返し周波数 (P R F : Pulse Repetition Frequency) で繰返される複数の送信パルスからなるパルス信号を送信し、前記パルス信号が目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を施すことにより検出した目標に向けて飛しょう体を誘導する飛しょう体誘導装置であって、

各々の前記送信パルスを送信する送信時間内を前後2つの送信時間に分割し、分割した2つの送信時間に連動して、一方の送信時間においては前記パルス信号を目標方向に向けて送信し、他の送信時間においては前記パルス信号をクラッタ方向に向けて送信するアンテナ部と、

前記目標方向に向けて送信した前記パルス信号が前記目標で反射された反射信号と、前記クラッタ方向に向けて送信した前記パルス信号が前記クラッタで反射された反射信号を受信する受信部と、

前記目標で反射された反射信号と前記クラッタで反射された反射信号との差分をとり、前記差分の結果を積算し合成帯域処理を行うことで目標を検出する目標検出部と、を備えることを特徴とする飛しょう体誘導装置。

【請求項4】

前記アンテナ部は、アンテナの指向方向を前記目標方向と前記クラッタ方向とに切換制御するアンテナ角度制御部を備え、

前記アンテナ角度制御部は前記クラッタ方向を、前記目標方向に対して予め測定された前記アンテナのアンテナパターンのピークゲイン値から所定の値が低下する角度だけずらした方向に設定することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか記載の飛しょう体誘導装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この発明の飛しょう体誘導装置は、所定のパルス繰返し周波数 (P R F : Pulse Repetition Frequency) で繰返される複数の送信パルスからなるパルス信号を送信し、前記パルス信号が目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を施すことにより検出した目標に向けて飛しょう体を誘導する飛しょう体誘導装置であって、各々の前記送信パルスを送信する送信時間内を前後2つの送信時間に分割し、分割した2つの送信時間に連動して、一方の送信時間においては前記パルス信号を目標方向に向けて送信し、他の送信時間においては前記パルス信号をクラッタ方向に向けて送信するアンテナ部と、前記目標方向に向けて送信した前記パルス信号が前記目標で反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記目標方向の合成帯域処理結果を取得すると共に、前記クラッタ方向に向けて送信した前記パルス信号が前記クラッタで反射された反射信号を積算し合成帯域処理を行うことで前記クラッタ方向の合成帯域処理結果を取得する合成帯域処理部と、前記目標方向の合成帯域処理結果と前記クラッタ方向の合成帯域処理結果

との差分をとることで前記目標を検出する目標検出部とを備える。